

■略歴
 昭和 50 年 宇佐市長洲に生まれる
 平成 元 年 宇佐市立柳ヶ浦小学校 卒業
 平成 3 年 宇佐市立長洲中学校 卒業
 平成 6 年 大分県立宇佐高等学校 卒業
 平成 10 年 青山学院大学経済学部 卒業
 平成 23 年 民間企業勤務を経て、宇佐市議会議員に就任（3期10年間）
 平成 29 年 宇佐商工会議所青年部会長、大分県私立幼稚園PTA連合会会長を務める
 令和 元 年 宇佐市議会議会運営委員長、全国若手議員の会九州ブロック会長を務める
 令和 7 年 宇佐市長に就任



このたび、第3代宇佐市長に就任いたしました後藤竜也です。
 市民の皆さまからいただきました温かいご支持、ご支援に心から感謝申し上げます。生まれ育ったこの宇佐のまちで、市長として舵取りを担う重みに、身の引き締まる思いと大きな希望を感じております。

私は、これまで宇佐で育ち、働き、地域の方々と手を取り合いながら、多くの声に触れてきました。市政とは決して一方的なものではなく、市民一人一人の暮らしの中にこそ、その原点があります。市役所の中

市民の皆さまへ

からだけでは見えない現実が、地域にはあります。その声を受け止め、言葉ではなく行動で示し、課題に向き合い、未来を切り拓く。その覚悟を胸に、私は市政の第一歩を踏み出してまいります。

本市を取り巻く状況は、少子高齢化、人口減少、地域経済の変化、頻発する大災害への備え、教育や福祉の充実など課題が山積していますが、市民の皆さまの声を聴き、共に考え、共に汗をかき、一つ一つの課題に真摯に向き合ってまいります。そして、時代の先を見据えた政策を積極的に進め、子どもたちが未来に夢を持てる宇佐市を築いていく所存です。



市民の皆さまと共に

新しい宇佐市へ

また、宇佐市は古来から、八幡社の総本宮・宇佐神宮を中心として、豊かな歴史と文化を育んできました。さらに、海・山・川に囲まれた自然の恵み、地域を支える農林水産業、そして、人と人との絆を大切にする風土は、今もなおこのまちの誇りです。これらの資源を次の世代へと継承し、時代の変化に柔軟に対応しながら、**選ばれるまち、誇れるまち、安心して暮らせるまち**を実現すること。それが私の目指すまちづくりです。そのために、以下の8つの政策を軸に「**新しい宇佐市**」を創造してまいります。

宇佐市長 後藤 竜也

8つの政策

1. 徹底したメディア戦略による観光振興

宇佐神宮を核とした観光誘客、インバウンド対策の充実、両院地域の潜在的観光資源を生かす



2. 産業が栄えるまち

農業・漁業・林業・畜産業などの一次産業を支援、後継者の育成をサポート、基幹産業の振興と創業支援の強化



3. 市政改革

4年ごとの市長退職金を廃止し退任する期のみ、ふるさと納税の拡充、民間の知見の活用、安心院・院内の活性化



4. 新しいまちづくり

都市計画・用途区域の見直し、自然エネルギー活用、情報格差のないまち、イベントの再興・新設・拡充によるにぎわい創出



5. 子育て・若者支援

子どもを産み育てやすい環境を整備するため、出産・進学祝金などの経済的支援を拡充



6. 充実した医療・福祉

高齢者サロン・趣味を通じた集いをサポート、安心できる救急医療体制や介護サービスの構築



7. 安心・安全・住みやすいまち

スポーツ・レクリエーション施設の整備、市内主要各所に防犯カメラ設置、地域交通の確保、循環バス・デマンド交通の推進



8. 豊かな教育のまち

特色ある学校づくりをサポート、市外に出なくとも高い教育を受けられる環境づくり、年齢を問わず学べる市民講座の充実

